

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2017 No.498

6/1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



平成29年度 第1回理事会開催される



平成29年4月22日(土)、平成29年度第1回理事会が本会事務所講義室で開催された。理事19人の出席により、本理事会は成立した。

初めに、中澤会長から3つの話があった。1つ目は、診療放射線技師学校養成所指定規則の改正案について、厚生労働省へ要望書を提出する予定であること。2つ目は、ラジオロジー・プラクティショナーについて、本邦でも大学院などで導入を検討する必要があること。3つ目は、四年制大学および専門学校の設置についてであった。本会の方針を理解していただき、四年制大学を推進し、専門学校の設立を防止する旨であった。

本理事会では、8の議題および23の報告があった。議題は「平成28年度事業報告案について」「平成28年度決算報告案について」「定款・諸規定見直し案について」「第78回定時総会開催について」および「委員会の組織構成および委員の承認について」などであった。

報告は「平成28年度大光監査法人期末往査報告」「平成28年度期末監査報告」「執行理事報告」「会員動向報告」「編集委員会報告」「広報委員会報告」「調査委員会報告」「倫理委員会報告」「業務拡大に伴う統一講習会進捗報告について」「診療放射線技師国家試験問題評価委員会からの答申について」「第33回函館学術大会の進捗について」「70周年記念式典について」「平成29年度ワークショップについて」「J-RIME第9回総会の報告」「指定規則に関する進捗報告」「地域理事報告」および「今後のスケジュール」などであった。

議題の「平成28年度事業報告案について」では、中澤会長より総括について説明があり、庶務報告で会員の動向が提示された。平成28年度事業報告では、各委員会などにおける事業の報告や他団体との連携について報告があった。「定款・諸規定見直し案について」では、熊代副会長より定款改正案、会費等納入規程および学術研究助成金取扱規程等の7



つの規定について改定案の説明があった。「第78回定時総会開催について」では、6月3日(土)午前11時から日経ホールで開催が予定されており、2つの報告事項と3つの議案が挙げられた。また特別講演や第33回日本診療放射線技師学術大会案内についても企画されていた。

報告の「平成28年度大光監査法人期末往査報告」では、気付き事項が報告された。「平成28年度期末監査報告」では、事業報告は正しく示しているものと認められ、理事職の執行について、法令などに違反する重大な事実は認められないとの報告があった。また計算書類などは、重要な点において適正に示しているものと認められたとの報告があった。「診療放射線技師国家試験問題評価委員会からの答申について」では、佐野副会長より報告があり、国家試験問題数の増加の要望や、回答が困難であろう問題、および解答が複数あると思われる問題などについて答申を行ったとの報告があった。「第33回函館学術大会の進捗について」では、板東大会長より協賛の進捗やプログラム案などの報告があった。「70周年記念式典について」では、野村事務局長より次第・役割分担およびスケジュールなどの報告があった。その他、各委員会および地域理事からの報告をもって、本理事会は無事に終了した。

詳細な内容は、第1回理事会議事録(抄)を参照されたい。

第50回 中華民国医事放射学会学術大会開催される

2017年3月26日(日)に、The 50th Annual Meeting of the Taiwan Society of Radiological Technologists (TWSRT) and the International Conference of Medical Imaging (第50回 中華民国医事放射学会学術大会)が、新竹市の元培医事科技大学 (Yuanpei University) で開催された。今回の学術大会はTWSRTの第50回の記念大会であり、昨年度に引き続き医用画像に関する国際会議も同時開催された。アジア地域を中心に13カ国、約80人の外国人を含め、約1,500人が学術大会に参加した。日本からは中澤会長、児玉理事をはじめ26人が参加した。

元培医事科技大学の初代理事長は、島津レントゲン技術専修学校で勉強された経験があり、台湾の診療放射線技師養成大学の中で最も歴史のある大学である。TWSRTのChiung-Wen Kuo会長も元培医事科技大学出身で、現在は元培医事科技大学の診療放射線学科長を務めている。そのような背景から、第50回記念大会は元培医事科技大学で開催された。今回の記念大会では、口述発表の約35%が英語での発表となっ

ており、TWSRTでは英語での発表を推進している。台湾の大学院には多くの外国人が留学しているが、元培医事科技大学にもベトナム・マカオ・ミャンマーなどから大学院に留学しており、本大会でも大学院生の多くが口述発表をしていた。日本からも2人の口述発表があったが、より多くのエントリーを期待したい。

元培医事科技大学には放射線医学博物館も併設されており、台湾における画像診断機器の歴史、台湾における診療放射線技師教育の歴史、画像診断機器の展示などのほか、これまでのアジア各国との交流の証しとしてプレゼント交換されたものが、全て展示されていた。

今回のThe 51st Annual Meeting of the Taiwan Society of Radiological Technologists (TWSRT) and the International Conference of Medical Imaging (第51回 中華民国医事放射学会学術大会)は、2018年3月11日(日)に予定されている。第51回大会は東アジア学術交流大会 (EA-CRT) との併催であり、多くの会員の参加を期待する。



放射線医学博物館の前で



レントゲン技術専修学校の瀧内政治郎氏(日本診療放射線技師会初代会長)が元培医事科技大学を訪問した際の写真



開会式での記念撮影



中澤会長とKuo会長

日本歯科技工士会会長ならびに 相談役来訪される

平成29年5月15日（月）、日本歯科技工士会 杉岡範明会長ならびに古橋博美相談役が本会事務所を来訪された。出迎えた中澤会長に野村事務局長が同席し、今後の他職種との連携強化に向け意見を交換し「医療、福祉・介護関連団体連絡協議会（ジャパンヒューマンプラットフォーム：JPH）」を通じて協力していくことを確認した。

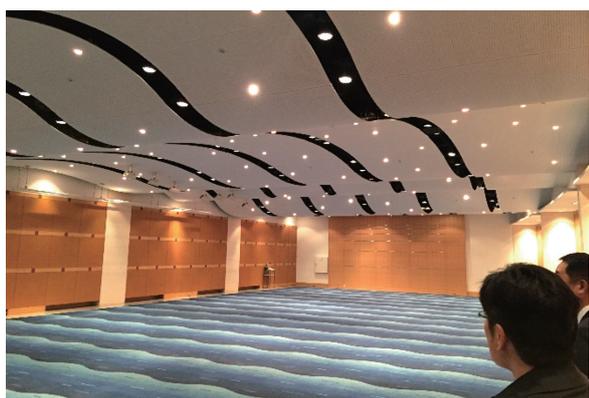


杉岡会長（左）・古橋相談役（右）との記念撮影

第34回 日本診療放射線技師学術大会 視察報告

第34回日本診療放射線技師学術大会が平成30年9月21日（金）から23日（日・祝）まで、山口県の下関市で行われる。大会の開催に当たり、平成29年3月18日（土）・19日（日）の2日間、日本診療放射線技師会役員・事務局長の7人が現地に入り、視察および下関学術大会実行委員との第1回実行委員会が行われた。

学術大会の開催会場は、市内にある「海峡メッセ下関」「下関生涯学習プラザ」の2施設が使用される。海峡メッセ下関は、153メートルのシンボルタワーを備えた近代的な建物で



海峡メッセ下関の中でも、ひととき華やかな「海峡ホール」

あり、中でも展示見本会場は1,873㎡と非常に広いスペースを擁し、示説発表・企業展示などの利用に適していた。また口述発表会場なども十分に対応できる設備であった。

観光の面については、会場近くに書院造りを踏襲し

た和風建築である長府藩毛利邸、新鮮な海産物を安価で提供する唐戸市場、また巖流島などの観光スポットも数多く、学術大会参加者も充実の大会になることが推測され、多くの会員が参加されることを期待したい。

最後に、本視察への準備およびご協力いただいた山内大会長をはじめ、山口県診療放射線技師会の皆さまにお礼を申し上げます。

（文責：江田哲男）



高杉晋作が奇兵隊を挙兵した功山寺の山門において

創立記念日のお知らせ

昭和22年7月13日に日本放射線技師会（当時名称）が誕生しました。誕生した経緯は「エックス線発見120年のあゆみ」（平成27年6月発行）をご参照ください。7月13日が本会の創立記念日となりますので、会員の皆さまにお知らせ致します。

INFORMATION

平成28年度 期末監査実施される

平成29年4月21日(金)午後1時より、本会事務所で監査監事(室野井廣、新開英秀、小川利政)による平成28年度期末監査が実施された。

中澤会長より平成28年度事業の総括が行われ、江田総務理事による庶務報告と各事業の報告が行われた。続いて小田理事による平成28年度の決算報告が行われた。

これに対して、監査監事からの口頭指導による主な指摘事項は①運営会議および幹事会議などの会議回数の記載②委員会議事録未提出管理の徹底、運営会議および幹事会議などについての事業報告③入会促進に向けた都道府県技師会との連携の強化④事業計画された事項で不実施事項も必ず報告——の4項目であった。

これらの指導事項に対して、平成29年度の事業活動に反映



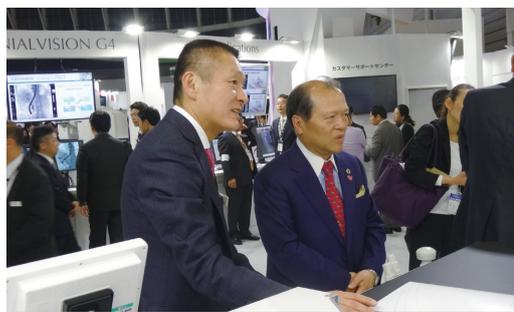
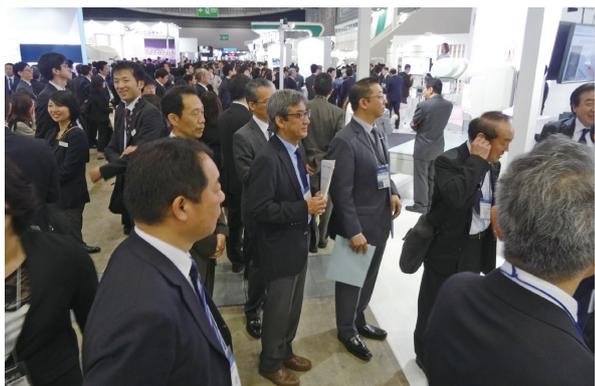
する所存であると、中澤会長より回答がなされた。

出席者は中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、小田理事、江田理事、野村事務局長および大森顧問税理士であり、3時間にわたり質疑応答が行われた。

第33回 日本診療放射線技師学術大会の 広報活動 in ITEM (大会長 板東 道夫)

平成29年4月14日(金)から16日(日)までの3日間、パシフィコ横浜においてJRC2017国際医用画像総合展(ITEM)が開催されました。今年は158ものブースが出展しており、展示ホールAからDまでの広大な会場に所狭しとブースが設置されていました。会場には、学会参加者をはじめ多くの方が来場され、最新機器の実機展示を間近にしながらか熱心に情報を収集されていました。どのブースもあふれんばかりの人で、にぎわいを見せておりました。

今回、第33回日本診療放射線技師学術大会(第33回JCRT)への協力依頼のため、ITEM出展ブースを2日間かけて全て回り、ごあいさつと広報活動を行ってまいりました。



この出展各社への訪問は、本会から中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、江田理事、北海道から板東大会長、富田実行委員長をはじめとする実行委員6人、次回第34回開催県である山口県の山内大会長、岩永実行委員長が参加しました。皆さま、お忙しい中ありがとうございます。北海道を出発する時に用意した300枚の名刺と趣意書・パンフレットは、ブースを回り切った後には手元にほとんどなくなるほどでした。

ITEM訪問時を含め、300社以上に大会趣意書を配り終わりました。より多くの企業が第33回JCRTに協賛いただけますよう、これからも各社にお願いに伺います。

今後も、第33回JCRTの機器展示などが、参加される皆さまに有益な情報の提供となり、満足いただける情報交換の場となるよう準備を進めてまいります。

医療被ばく低減施設認定の申請募集

INFORMATION

医療被ばくに関して、診療放射線技師が責任を持って情報の開示や十分な説明をすることは当然である。本認定事業は、医療用放射線利用による医療被ばくを低減している施設が、この認定に向けて準備を行うことで、改めて医療被ばく低減への取り組みを振り返っていただき、また国民に「医療被ばく低減(医療被ばくの適正化)」という情報を提供することで、結果として医療提供側・患者側の双方に大きなメリットとなる。

この認定事業は時期を問わず募集しているが、審査料や認定料が発生するため自施設で予算を取っていただく必要がある。審査費用は、書面審査料は無料、訪問審査料は審査項目に核医学を含まない施設が3万円、審査項目に核医学を含む施設が8万円、認定登録料が2万円である。この医療被ばく低減施設認定の審査は、本会からお送りする調書による書面審査とサーベイヤが施設まで直接審査に訪れて実施する訪問審査があり、訪問審査は書面審査に合格した施設に対して実施する。この認定制度は、真正性と公平性および継続性を確認するため、認定期間を5年間とした更新制度となっている。

審査希望の施設は、本会ホームページ <http://www.jart.jp/activity/teigenshisetu.html> をご参照の上、ぜひご申請いただきたい。



平成29年 春の叙勲受章者 —おめでとうございます—

INFORMATION

旭日双光章	中村源之助(長崎県)			
瑞宝双光章	石川 昇(埼玉県)	石田 晃(青森県)	伊藤 雅夫(静岡県)	大内 直樹(宮城県)
	小澤ふじ子(福井県)	笹川 幹晴(北海道)	佐野 幹夫(愛知県)	武田 一臣(東京都)
	中屋 清秀(富山県)	登 唯由(香川県)	松枝 由美(神奈川県)	宮下 隆裕(茨城県)
	横山毅佚朗(愛知県)	平田 吉春(鳥取県)	梁川 功(宮城県)	米田 和夫(愛知県)
瑞宝単光章	宮城 安秋(沖縄県)			

(敬称略・順不同、括弧内は所属地区)

「国際モダンホスピタルショー2017(第44回)」 のご案内

INFORMATION

病院をはじめ、保健・医療・福祉分野における質の向上、充実に役立つ機器・製品・システム・サービスなどを幅広く展示し、最新情報の発信および情報交流の場を提供することにより、健康福祉社会の発展に寄与することを目的に開催される「国際モダンホスピタルショー」が、下記の通り開催されます。

- テーマ：健康・医療・福祉の未来をひらく～連携と地域包括ケアの充実を目指して～
- 主催：一般社団法人日本病院会、一般社団法人日本経営協会
- 会期：2017年7月12日(水)～14日(金)
- 会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)東展示棟/会議棟
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
- 展示内容：医療環境設備・機器、医療機器・材料、医療情報システム、看護支援関連、介護・リハビリ支援関連、健診・ヘルスケア関連、病院・介護・医療施設運営サポート・サービス、医療関連書籍・出版物、医療・福祉団体事業紹介ほか、主催者セミナーなどが開催されます。

詳細は、ホームページ <http://noma-hs.jp/hs/2017/> をご確認ください。

興味のある方はぜひご参加ください。入場は原則として招待券持参もしくは事前登録者となっております。招待券・事前登録のない方は入場料が3,000円(税込み)となっております。



INFORMATION

英文誌 Journal of JART –English edition 2017– 発刊のお知らせ

このたび、英文誌 Journal of JART –English edition 2017–を発刊致しました。
本誌の内容は、本会の取り組みや学会での講演の様子をまとめた特集、さらには学術コンテ
ンツとしまして JART 会誌へ掲載済みの論文・寄稿の中より、優れたものを掲載しております。
毎年1号を発刊する予定ですので、ご期待ください。



※英文誌 Journal of JART は、会員の皆さまに電子配信とさせていただきます
ので、以下の本会 Web サイトより、ご自身でダウンロードくださいますよ
うお願い致します。

本会ホームページの“活動について About activity”の“定期刊行物”
の“Journal of JART –English edition 2017–”からダウンロードできます。
ダウンロード URL は、<http://www.jart.jp/activity/jjart.html> です。



国際学術大会スケジュールのお知らせ

下記の通り、関連の国際学術大会が予定されております。ご興味のある方は、
ぜひご参加ください。

また下記の大会は、国際学術交流助成の対象となります。申請の詳細は、
本会ホームページ

(<http://www.jart.jp/profile/j3kk2n0000000bfb-att/kokusaigakujuytukouryu.pdf>)
をご確認ください。最新情報ならびに参加登録などの詳細は各 Web サイトでご確認ください。



第21回 AACRT (Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists)

- 開催日程：2017年6月23日(金)～6月25日(日)
- 開催地：香港 香港サイエンスパーク内コンベンションセンター3

詳細は、会誌4月号をご覧ください。*国際学術交流助成は締め切っております。

第24回 EACRT

(24th East Asia Conference of Radiological Technologists : 東アジア学術交流大会)

第33回日本診療放射線技師学術大会に併催

- 開催日程：2017年9月22日(金)～24日(日)
- 開催地：日本 北海道 函館 函館市民会館・函館アリーナ

*国際学術交流助成の対象は海外の診療放射線技師となります。

第20回 ISRRT World Congress

- 開催日程：2018年4月12日(木)～15日(日)
- 開催地：トリニダード・トバゴ共和国 Hyatt Regency

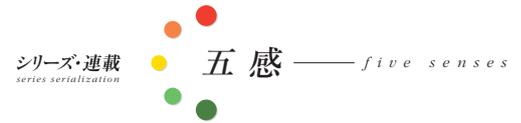
また下記の学術大会は国際学術交流助成になりませんが、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

The 17th Annual Scientific Meeting of Macao Radiological Technologists' Association

- 開催日程：2017年9月10日(日)
- 開催地：マカオ 9/F ICBC Tower, Landmark Macao (Conference Room of Dr. Stanley Ho Medical Development Foundation)



太公望に学ぶ



小職の趣味は、ルアー（疑似餌）を使って目的の魚を狙うゲームフィッシングで、9月から2月ごろまでは主にモイカ（藻烏賊）を狙います。モイカは大型になるほど警戒心が強くなり、釣るのが難しくなります。特に、潮止まりの時間帯は全く釣れず、潮が動き出す時合いまで待つ忍耐力が必要になります。ある新聞のコラムに「子供には釣りをさせると良い」と書かれていました。釣れなくてもふてくさらず、なぜ釣れなかったのかを分析し、工夫を加えて次に備えるところに釣りの良さがあるそうです。忍耐力がなく切れやすい子供が増えていると耳にする昨今、釣りをお勧めしたいと思います。

釣り好きの代名詞として使われる太公望は、周の文王とその後継である武王に仕える軍師でした。武王が王を継承してすぐに商王（殷）を倒す軍隊を送ろうとした際、太公望は「私は瀋溪で釣りをしていたとき、成功を願うなら耐え忍ぶことが必要だとの我慢の真理を学びました。商王を倒すために適切な時期まで待ちましょう」と武王を説得したといわれています。

また太公望は、「覆水盆に返らず」という言葉を残しています。周の文王と瀋溪で初めて出会った頃の太公望は非常に貧乏で、その貧乏さに耐えかねた妻は家を出てしまいました。とこ

ろが、文王に認められ出世すると妻が戻ってきて復縁を申し出ましたが、太公望は目の前で盆の水をこぼし「この水を元に戻せたら求めに応じよう」と言って、復縁を断ったといわれています。盆からこぼれ落ちた水を戻すことはできないように、一度壊れてしまった関係や絶好のチャンスは取り戻せないという例えです。「後悔先に立たず」と思った経験は誰にでもあるのではないのでしょうか。

今、診療放射線技師に大切なことは、その業務を社会に正しく理解してもらうこと。独占業務の籠は必ずしも頑丈ではないという危機意識を持ち、チーム医療・地域医療の中で専門性を積極的に発信していくことだと思います。日本診療放射線技師会は社会情勢を分析し、診療放射線技師の将来を見据えてさまざまな事業を展開しています。目標達成まで平たんな道ではありませんが、願いがかなうまで忍耐強く、そしてチャンスは逃さないという思いを会員と共有できることを願っています。

ジョン・F・ケネディーは、「いかなる犠牲、いかなる危険を伴おうとも、全ての危険の中で最も大きな危険は何もしないということである」と言っています。今の診療放射線技師を鼓舞する言葉だと思っています。（文責：江藤芳浩）

本会の動き

学術教育委員会より — 新生涯教育システムの構築 —

現在の「技師格」制度を中心とする生涯教育システムは、平成15年の構築から10年以上を経過し、見直しの必要が生じている。学術教育委員会では、時代の動向に対応させるため、会員自らが到達目標を把握し日常診療における習熟度レベルを可視化できる、クリニカルラダー方式を取り入れた新しい生涯教育システムについて検討を始めている。この基本方針は次の通りである。

- 1) 会員に分かりやすいシステムとし、現在の生涯教育システムにおいて努力している会員に決して不利益にならないこと。できるだけ現在のシステムを継承することで、資格認定・学術カウントなどを継続する。
- 2) 国民から十分に理解を得られる内容であること。
- 3) 診療放射線技師として、一定水準以上の知識技能の維持が担保できること。
- 4) 専門業務に特化せず、放射線診療業務全般を扱うことができること。
- 5) 継続教育ができること。

- 6) 個人だけでなく、所属施設、社会から認知される生涯教育システムであること。

すでに多くの施設においてラダー方式を取り入れているところであるが、これらは「技能的」なラダーがほとんどである。本会が構築するラダーは「知識的」ラダーであり、講習会やセミナー受講を主軸とした知識レベルと継続学習を、全国統一の物差しで評価するものである。

クリニカルラダーとしてレベル1（新人教育）、レベル2（ジェネラリスト）、レベル3～5（スペシャリスト）を設定し、レベル3からは画像診断系と放射線治療系に分けられる。さらにマネジメントラダーとしてレベル3～5を設定している。

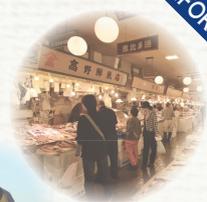
新生涯教育システムへの移行時は、今までの実績に応じて暫定的な移行措置を講じる予定である。会員情報システム（JARTIS）と連携し、個人データをできるだけ視覚的に分かりやすく表示したい。運用の検討・広報・周知を行いながら、システムの構築を図る予定である。（文責：中村 勝）

INFORMATION

第9回 第33回日本診療放射線技師学術大会

函館への道(食・街・人)

函館放射線技師会 会長 真壁武司



函館「裏夜景」

前回までは、函館の「食」にこだわり、さまざまなジャンルの食について紹介してきましたが、函館といえば「夜景」となるのは皆さん間違いないと思います。そこで今回は、函館の夜景について紹介したいと思います。

初めに、皆さんは函館の夜景といえばどのような光景を思い浮かべるでしょうか？やはり函館山山頂から見る夜景でしょうか？函館の夜景は、四季それぞれ見どころがあります。秋は晴れの日が多く空気が澄んでいるため遠くまで見えることが多く、冬には雪やイルミネーションとの競演、6~12月にはイカ釣り船の漁火も見ることができます。第33回日本診療放射線技師学術大会は開催時期が9月22日~24日です。ちょうどイカも取れ、夜景にもいい時期となるでしょう。昨年イカの不漁が続いていますが、今年の秋にはぜひ回復してもらいたいと願っております。

一方、函館山から見て、その向こうの山々から逆に函館山方向を眺める「裏夜景」と呼ばれるスポットがあります。観光の定番は表夜景ですが、最近は裏夜景があるツアーも企画されているようです。この裏夜景の代表的な城岱牧場しろたいには展望台などが新設され、現在、注目度が高まっています。函館市内の裏夜景スポットは、函館山から市街地を挟んで反対側の高台にいくつかあります。市街地から車で約15分の赤川地区もその一つです。「公立はこたて未来大学」に入る道からさらに先に向かい、函館バスの旋回所より手前を赤川桔梗線(農道)へ左折して、道なりに2kmほど進んで左にカーブすると、眼前に函館山を見渡す位置に出ます。ここは若干低いですが、また違った夜景を見ることができます(ローカルな話で申し訳ございませんが、この情報は北海道放射線技師会会報で北海道の方々に紹介した文面です)。

裏夜景は、函館の若者が車の免許を取りたての頃に、ドライブコースとして必ず訪れるスポットでもあります。

どんな物にも表があれば裏もあり、函館の夜景は裏も表も素晴らしい景色として見るができると思います。函館も実はただの観光都市ではなく、ディープな面白い一面もあり、きっと皆さんも知らない函館があると思います。学会期間中は、函館市観光課と協力して観光案内所を設置する予定ですが、地元実行委員に声を掛けていただき、地元ならではの情報を集めて交流を深め、観光していただけると幸いです。



函館山山頂から見る「表夜景」



別の山や高台から函館山方向を見る「裏夜景」

本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- ❶ 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から「新規入会はこちらから」をクリック
- ❷ 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。



INFORMATION

第33回



日本診療放射線技師 学術大会

The 33rd Japan Conference of
Radiological Technologists (JCRT)

第24回東アジア学術交流大会 The 24th East Asia Conference of
Radiological Technologists (EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

未来への開港 — 技の継承と飛躍 —

Open a Port to the Future: The Succession and Progress of Techniques

会期 Date 2017年9月22日(金)~24日(日) September 22nd (Fri)-24th (Sun), 2017

会場 Venue 函館市民会館・函館アリーナ Hakodate civic hall / Hakodate arena

会長 President 中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

主催 Host 公益社団法人 日本診療放射線技師会
The Japan Association of Radiological Technologists

大会長 Chairman 板東 道夫 (一般社団法人 北海道放射線技師会 会長)
Michio Bando (The Hokkaido Association of Radiological Technologists)

共催 Cosponsor 一般社団法人 北海道放射線技師会
The Hokkaido Association of Radiological Technologists

運営事務局 Secretariat 株式会社コンベンションワークス 〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17 TEL:011-827-7799 FAX:011-827-7769 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp
Convention Works Corporation 1-17, 3-chome, Kikusui 9-jo, Shiroishi-ku, Sapporo, 003-0809 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp

<http://c-work.co.jp/jcrt33/>



診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

プログラムは、エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎(都道府県により違いあり)など、現場ですぐに役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定:

北海道	6月17日(土)	北海道放射線技師会研修センター	青森	6月17日(土)	弘前大学大学院 保健学研究科
宮城	6月17日(土)	戦災復興記念館	静岡	6月17日(土)	静岡県放射線技師会 事務所
奈良	6月18日(日)	奈良県社会福祉総合センター	大阪	6月18日(日)	島津製作所 関西支社 島津マルチホール
沖縄	6月18日(日)	沖縄県南部医療センター・こども医療センター	福井	7月1日(土)	福井県立病院 5階大会議室
大分	7月1日(土)	医療法人大分記念病院	愛知	7月2日(日)	JAあいちビル14階 会議室A・B
京都	7月2日(日)	ホテルセントノーム京都	和歌山	7月2日(日)	和歌山県立医科大学附属病院 中央棟2F 画像読影室
長崎	7月2日(日)	JCHO諫早総合病院6階研修室	新潟	7月8日(土)	新潟大学医歯学総合病院 西診療棟3階
岐阜	7月8日(土)	シティホテル美濃加茂	宮崎	7月8日(土)	宮崎市医師会病院 研修棟1F 看護研修室
高知	7月9日(日)	高知市総合あんしんセンター本会会議室	山口	7月9日(日)	山口県総合保健会館 第2研修室
山梨	7月15日(土)	山梨大学医学部附属病院放射線部2階	広島	7月15日(土)	広島大学病院管理棟2階
長野	7月22日(土)~23日(日)	スカイランドきよみず	三重	7月22日(土)	鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスB講義棟1階3513教室
佐賀	7月22日(土)	会場(調整中)	石川	7月23日(日)	石川県済生会金沢病院2階 討議室
滋賀	7月23日(日)	会場(調整中)	島根	7月29日(土)	会場(調整中)
香川	8月5日(土)	瓦町FLAG8階 IKODE瓦町	愛媛	8月26日(土)	愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター1階講義室
神奈川	8月27日(日)	会場(調整中)			

6月・7月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■業務拡大に伴う統一講習会:

熊本	6月17日(土)~18日(日)	愛知	6月24日(土)~25日(日)
愛媛	6月24日(土)~25日(日)	大分	6月24日(土)~25日(日)
石川	7月1日(土)~2日(日)	富山	7月1日(土)~2日(日)
静岡	7月1日(土)~2日(日)	大阪	7月1日(土)~2日(日)
沖縄	7月1日(土)~2日(日)	岩手	7月8日(土)~9日(日)
東京	7月8日(土)~9日(日)	滋賀	7月8日(土)~9日(日)
徳島	7月8日(土)~9日(日)	栃木	7月16日(日)~17日(月・祝)
茨城	7月16日(日)~17日(月・祝)	京都	7月16日(日)~17日(月・祝)
奈良	7月16日(日)~17日(月・祝)	和歌山	7月16日(日)~17日(月・祝)
広島	7月16日(日)~17日(月・祝)	長崎	7月16日(日)~17日(月・祝)
千葉	7月22日(土)~23日(日)	福岡	7月22日(土)~23日(日)
北海道	7月29日(土)~30日(日)	宮城	7月29日(土)~30日(日)
神奈川	7月29日(土)~30日(日)	鳥取	7月29日(土)~30日(日)

■基礎技術講習(MRI検査):

群馬 7月9日(日)

■基礎技術講習(画像等手術支援): 宮城 7月23日(日)

■基礎技術講習(一般撮影): 三重 7月23日(日)

■放射線取扱主任者定期講習: 東京 6月16日(金)

■医療画像情報精度管理セミナー: 三重 6月24日(土)

■ナイトセミナー: 東京 6月26日(月)

■モニタ精度管理セミナー: 東京 7月1日(土)

■読影セミナー: 東京 7月2日(日)

■放射線被ばく相談員講習会: 東京 7月15日(土)~16日(日)

■被ばく線量適正化講習会: 東京 7月29日(土)

■放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会: 京都 7月30日(日)

愛媛 7月23日(日)

東京 7月15日(土)

事務所 案内

執務時間: 月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。